

新型コロナウイルス感染者の経過報告（第2報）

昨日（12/15）細木病院・北館（こころのセンター）閉鎖病棟の入院患者さん13人と病棟職員4人が新型コロナ陽性だったことをお伝えしました。本日（12/16）、新たに同病棟職員4名の感染が確認されました。新たに感染が確認された職員は、昨日、検査が出来ず、本日の確認となったもので、全員が当該病棟に関係する職員です。

よって、引き続き、高知市保健所の指導を受けながら、当面の病院運営は、以下と致します。

1. 北館（こころのセンター）の新規入退院を当面、停止する。
2. 北館（こころのセンター）の精神科デイケア・重度認知症デイケアは当面、休止する。
3. 北館（こころのセンター）の外来診療は継続する。
4. 本館・新館・南館・ハートセンターでの一般科診療は、通常通り運営する。

本日、職員の感染者は増加しましたが、同一病棟に関係する職員であり、また、新たな患者さんの発生はみられないことから、以下の状況を踏まえ、昨日同様の病院運営を継続すると判断したものです。

細木病院は、一般科の本館・新館・南館と精神科の北館が、距離を取って配置されており、かつ、患者さんや職員の交流も限定的であることから、感染リスクは低いと判断し、一般科は、外来・入院とも通常診療を継続します。

北館（こころのセンター）への新規入退院は、新たな感染リスクとなる可能性があるため一旦停止します。こころのセンター外来での感染のリスクは低いと判断され、外来診療は継続いたします。

当院では、これ以上の感染拡大を抑えるため、職員の体調管理、マスクや手指消毒を含めた標準予防策の徹底、発熱等のある患者さんに対する個人防護具装着の徹底といったできる限りの感染防御を行います。

何卒、皆様のご理解をどうぞ宜しくお願いいたします。

令和2年12月16日 細木病院